



収入額や普通交付税などに対する公債費負担の度合いを示す指標の一つで、20%を超えると一部の起債の発行が制

【体験・学習しよう】

県立いししま自然体験センター(姫路市)

瀬戸内の豊かな自然を生かした 海の環境学習の拠点施設

瀬戸内海に浮かぶ家島群島の一つ、西島にある旧「母と子の島」。豊かな自然を活用した従来の体験活動に加えて多彩な環境学習プログラムを提供する「県立いししま自然体験センター」として五月三日リニューアルオープンしました。オープン直後には三泊四日の「春の親子自然体験」が行われ、家族連れなど九十二人が参加。スタッフの指導の下、浜辺で漂着物を調べたり、底が透明になったカヌーをこいで海中を観察したりと、自然に親しみながら海の環境について学びました。

海あり森ありの約百畝の施設に、新たに整備されたのが環境学習センターです。大型タッチパネルによる映像で楽しく学び、タッチプールで生きたタコをさわったり、大型水槽で家島海域の生き物を観察できる海辺のライブ러리、海で採取した生き物や微生物を観察研究する実験・研究室な

多彩な自然体験・環境学習施設で 自然を守る活動の第一歩を

県内には多彩な自然体験や環境学習の施設があり、自然や環境、命の大切さを実感することができます。また、エコ活動を応援する施策も展開しています。体験し、学び、そして実践へ。身近なところから、自然を守る活動の第一歩を踏み出しましょう。

どがあります。また、海には生けず型の施設を設置し魚を放流。海中を探検したり、養殖を体験することができます。ほかにも、生ごみ処理体験やバイオトイレ体験など、環境学習プログラムも充実しています。さらに、主催事業を通じて環境関係の人材育成にも取り組みます。活動コーディネーター養成講座を皮切りに、こどもエコリーダー、エコレンジャーなどの養成講座が次々に開催される予定です。

「自然の中での体験や学習を通じて、人は自然とともに生きていくこと、そしてその自然界で起こっていることや森・川・海の連鎖などに気付いてほしい。そして家庭や地域で、できることから実践してもらいたいですね」と、丹野宏幸所長は話します。

姫路市家島町西島
☎079(327)1508
<http://www.shizen-ieshima.com>

県立人と自然の博物館

「兵庫の自然誌」「人と自然」など五つのテーマによる常設展示のほか、年三回の企画展示、自分の目や手で見たふれたりしながら学べる各種セミナーなど、子どもからお年寄りまであらゆる世代が自然や環境について学習できる機会を提供しています。

兵庫県三田市弥生が丘6
☎079(559)2001
<http://www.hitohaku.jp/>

兵庫楽農生活センター

誰もが「食や」農について学び、体験し、実践できる施設。さまざまなプログラムがあり、農作業体験や交流活動を通じて食や農の大切さを学んだり、命の大切さを実感できます。

神戸市西区神出町小東野30-17
☎078(965)2651
<http://hyogo-rakunou.com/>

イベント

●親子ヨット教室

瀬戸内海でヨットの操船技術を学ぶ▷対象=親子、成人、子ども(4年生以上)▷日程=7月14日①~16日②③▷定員=20人▷費用=中学生以上1万8,000円、小学生1万7,000円

●夏の親子自然教室

カヌー・カヤックツアー、野外パーティー、夜の磯観察など▷対象=親子、家族▷日程=7月22日①~24日②▷定員=60人▷費用=中学生以上1万2,000円、小学生1万1,000円(ロッジ代別)

●植物の標本をつくろう

植物の採集から標本の仕上げまでを行う2回セットの講座▷対象=小学校低学年(保護者同伴)~中学生▷日時=7月22日①・29日②いずれも午前10時30分~午後3時▷定員=20人▷受講料=500円▷申し込み締め切り=7月2日①

●環境の温度を測ってみよう!

公園を散策しながら、植物の葉や幹、水、建物などの表面温度を測定▷日時=7月29日①午後2時~3時▷集合場所=博物館4階▷定員=20人▷受講料=観覧料のみ

●「露地野菜体験教室」秋冬野菜の播種

キャベツ、ブロッコリー、水菜の播種など。小雨決行▷日時=8月18日①午前9時~正午▷場所=体験農場▷定員=30人▷体験料=1,260円(おつりのいらぬように)▷その他=汚れてもいい服装で水筒、タオル、長靴、軍手、帽子を持参

●里山再生塾

間伐や下草刈りなど里山整備。小雨決行。無料▷日時=7月28日①午前9時~正午▷場所=里山▷定員=30人▷その他=長袖、長ズボンで水筒、タオル、軍手、帽子を持参(サンダル不可)

■ひょうごエコプラザ

環境に関心のある人や団体など誰もが利用できる環境学習教育の中核交流拠点。展示や図書コーナー、環境学習・教育コーディネーターによる相談コーナー、参加者のネットワークを広げる交流ルームなどを備えています。神戸市中央区東川崎町1-1-3(神戸クリスタルタワー5階)☎078(371)7710

●ひょうご出前環境教室

県内の小中学校や地域団体、グループなどが環境について学ぼうとする際に、その要請に基づき、協会が選定した講座の講師を派遣。講師の謝金や交通費を負担します。原則として年度内の利用は一団体二回まで。

☎☎ひょうご環境創造協会(ひょうごエコプラザ)
☎078(371)7710 <http://www.heaa-salon.or.jp/>

●エコツーリズムバス

県内の二十人以上の団体・グループ等が貸し切りバスを利用して環境学習施設などで環境学習を行う場合、一台につき日帰り五万円、一泊二日十万円を上限に、借上げ費用の二分の一を助成します。

◎(財)ひょうご環境創造協会ホームページ

<http://www.heaa-salon.or.jp/> 体験型環境学習施設の一覧などの環境関連情報が満載です。

広告
24.5cm×6.5cm

いきいき子育て

～ひょうごの少子対策～



加速する少子化に歯止めをかけるため、県では「ひょうご子ども未来プラン(10の行動～アクション10～)」を策定し、ライフステージに応じたきめ細やかな支援策を展開中。このコーナーでは県が取り組む「10の行動」を毎月1つずつ紹介していきます。

行動 2 若者の自立支援

早いうちから職業意識を高めるとともに、職業能力の開発やものづくり人材の育成、企業と協働での取り組みなど、若者の経済的自立に向けた就業支援を行っています。

ひょうごの匠キャラバン隊

青少年への技能の伝承と後継者育成を目的に、平成10年度から県内の優れた技能者を「ひょうごの匠」として認定。25職種にわたるキャラバン隊を中学校に派遣し、ものづくりの魅力を伝え体験の機会を提供しています。また、夏休みには中高生が匠の職場に出向いて技能体験する職場体験事業も実施しています。



◎県能力開発課 ☎078(362)3369

高校生就業体験事業 —インターンシップ推進プラン—

全県立高校の2年生を対象に、将来の進路に関連する事業所などでの就業体験、地域の職業人による進路講演会、職業ガイダンスや職業体験活動などを実施。勤労観や職業観、職業人としての基礎的な資質や能力を育成します。



◎県高校教育課 ☎078(362)9444

「ひょうごの達人」伝承事業

農業や商業など職業に関する学科を設置するすべての県立全日制高校を対象に、実習や課題研究といった実技指導に専門学校の講師や企業OBなど専門家を招へいし、生徒の高度な資格取得やスキルアップを支援。職業学科を持つ高校の特色づくりを推進します。

◎県高校教育課 ☎078(362)9444

ふるさと体験留学事業の参加者募集

都市部の子どもが農山村へ体験留学し、溪流遊びや農林業体験など地域の人々との交流を通じて「第2のふるさとづくり」をするとともに、自立心や規律、他人を思いやる心を醸成 ▶期間=7月31日①～8月13日②(13泊14日)▶対象=県内在住の小中学生 ▶場所=神河町地域交流センター ▶定員=35人 ①②6月31日③までに同センター ☎0790(33)0013

【実践しよう】

松蔭高校グリーンエコプロジェクト(神戸市)

国産間伐材のアドバンスで環境問題にチャレンジ

「環境という大きな課題に、身近な切り口でアクションを起こそう。小さくてもいいから自分たちができることで、みんなの意識を改革したい」。昨年十二月、キャリア教育プログラムの一環として、高校三年生二十人によるエコキャラバン隊の活動がスタートしました。

地球温暖化ストップをめざし、着目したのが日本の森林です。早速、材木を商う人の話を聞き、奈良県吉野地方の森林でフィールドワークを行った結果、二酸化炭素をたつぷり吸収する元気な森にするには間伐が

必要だと気付きます。そこで、企業の協力を得て国産間伐材で割りばしを作り、袋には協賛企業の広告を掲載する「アドバンス」の制作・配布により、間伐材の活用を広く市民に訴えることに。企画会議を重ね、アドバンスの制作や協賛企業や協力店との交渉、イベントの準備などに取り組みました。

二月十六日から二十五日をグリーンウィークと名付け、神戸ハーバーランドなどで約七万膳のアドバンスを配布。集大成となった二十五日のエコイベントでは、小枝を使った工作やミニゲーム、スライドでの活動報告などを行い、約二千人にアピールすることができました。



収入額や普通交付税などに対する公債費負担の度合いを示す指標の一つで、20%を超えると一部の起債の発行が制限されていた。

とを心にとめ、これからはグリーンエコ活動を続けていきたいと、メンバーの一人。指導する谷口理教諭は「アドバンスを財産として継続しながら、その学年ならではの環境へのアプローチを考えていきたい」と話します。ひとりひとりの意識が変われば、地球の自然はきっと守れる。「環境保全の手法は変わっても、はし袋に記された生徒たちの思いは着実に受け継がれていきます。」

募集します!

ひょうごグリーンサポーター

里山の自然、鳥や虫、花などに詳しい人、子どもや自然が好きで一緒に環境学習をしたいと思っている人などが対象。幼稚園や保育園での「ひょうごっこグリーンガーデン」事業や小学三年生の「環境体験事業」など、子どもたちの環境学習を支援します。

地球温暖化防止活動推進員協力員

県内在住、在勤で、地球温暖化の現状や温暖化対策に関する知識を持つ人などの中から、知事が委嘱。自らの生活で地球温暖化対策を実践したり、ほかの推進員などと連携しながら普及啓発に努めます。

命を大切に“ころ”をはぐくむ環境学習・教育を総合的に推進

県では、環境や生命を大切に思う“ころ”をはぐくみ、学習から実践へとつなげていくことをめざして、自ら体験、発見し、自ら学ぶ環境学習・教育を推進。幼児期からシニア世代まで、それぞれのライフステージに応じたプログラムを展開します。

◎ひょうごっこグリーンガーデン(幼児期の環境学習)

幼稚園や保育所などを中心に地域の田畑や市民農園を活用した農体験、園内での植物栽培や動物飼育などの自然体験により、驚きや感動を通じて生命の不思議やつながりを体感します。

◎県環境学習課 ☎078(362)9895

◎ひょうごグリーンスクール(学齢期の環境学習)

すべての小学三年生を対象に、学校菜園や学校林、市民農園などで自ら耕作や取り入れなどの環境体験活動を行うことにより、自然の一員であること、命の大切さやつながりを学び、思いやりのある豊かな“ころ”をはぐくみます。

◎県義務教育課 ☎078(362)3773、県環境学習課 ☎078(362)9895

広告
24.5cm×6.5cm